

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年9月27日(17:40~19:10)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 伊藤、大久保、飯塚、篠田、新井、渡邊、津久井

◆前回の改善計画に対する取組み状況 () 前年

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
前回の課題について取り組みましたか?	4 (3)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	11 (10)

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントで足りない情報は、気付いた点ノートを活用、毎日行われるミーティングや会議等で補完する。また日常のケアに活かせるよう、今の生活のみでなく過去の生活歴や嗜好などの情報も把握し、職員それぞれが共通認識をもてるようにする。 ・アセスメントや統一事項の情報に縛られず、職員それぞれの柔軟性や創造力を発揮できるようミーティングや会議等で積極的な発言を促す。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメント情報を補完するために気付いた点ノートやミーティングを活用し、情報の充実を図った。しかしご本人様やご家族様から得られた情報が職員個人の中に留まってしまい、職員間で共有されないこともあった。読んでいない職員は直接指摘した方が良いのではとの意見あり。 ・ミーティングは毎日行なわれ、担当職員を中心に意見交換を行っている。また、全体会議を毎月開催しているが、会議の参加職員は約半数に留まっているため、参加できない職員の意見が反映されていない。しかしミーティングや全体会議で決まった内容は、申し送りや会議録を通して周知・徹底されている。

◆今回の自己評価の状況 () 前年

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5 (6)	6 (4)	0 (0)	0 (0)	11 (10)
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3 (2)	8 (8)	0 (0)	0 (0)	11 (10)
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	6 (5)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	11 (10)
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3 (2)	7 (8)	1 (0)	0 (0)	11 (10)

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントや情報提供書は利用前から閲覧され、ミーティングや会議を通じて利用者の関わり・配慮すべき点などを共有している。また事前に担当職員を決め、新規利用者のケアの中心的役割としている。 ・アセスメント以外の情報が共有できるよう「気づいた点」ノートを活用し、ケアに活かしている。 ・新規利用者受け入れ時は、安心できるよう声掛けを多くし、多職種で情報を共有しながらケアを行っている。 ・ご本人の意向を尊重し、その方の持っている力が発揮できるよう援助している。 ・職員同士の日常会話でも利用者の改善点などを話すようにしている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントだけでは情報が不足しており、戸惑うことが多い。 ・接点の少ない家族は、望みが分からないことがある。家族から得られた情報が共有されないことがある。 ・「気づいた点」ノートに記載せず、職員個人の中で留めてしまったり、ノートを見ない職員もいるため情報が途切れてしまっている。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・毎日のミーティングの決定事項は通勤者が申し送りノートに記載し、ケアを統一する。ケアの方向性は再度ミーティングや会議で取り上げ、共通認識を図る。 ・引き続きアセスメントや統一事項の情報に捉われず、職員それぞれの柔軟性や創造力を発揮できるようミーティングや会議等で積極的な発言を促す。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年9月27日(17:40~19:10)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 伊藤、大久保、飯塚、篠田、新井、渡邊、津久井

◆前回の改善計画に対する取組み状況 () 前年

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 (0)	9 (10)	1 (0)	0 (0)	11 (10)

前回の改善計画

- ・利用者の目標(ゴール)は担当者会議を経て申し送る。申し送り事項はミーティングや全体会議で提示し、ゴール実現のために必要なケアについて話し合う。担当職員のみでなく、職員それぞれの思いが表わせるよう話を振ったり一緒に考える。
- ・関わりやすい利用者のみでなく、利用者に平等に接し、その方の歩んできた人生を聞いたり、希望や困りごとを聞くなど、利用者寄り添って話をする。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・担当者会議で話し合われたケアは、利用者担当を通じて申し送り、ケアの統一が行えた。また申し送りされたケアは全職員が共有し、ミーティング等で話し合っている。
- ・ミーティングや全体会議で実践内容の検討を行っているが、職員によって、「～したい」という本人の目標が分からないままケアを行ったり、目標に対する視点が違う場合がある。

◆今回の自己評価の状況 () 前年

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	2 (1)	7 (9)	2 (0)	0 (0)	11 (10)
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2 (1)	8 (8)	1 (1)	0 (0)	11 (10)
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2 (1)	7 (9)	2 (0)	0 (0)	11 (10)
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1 (0)	9 (8)	1 (2)	0 (0)	11 (10)

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用者の希望したことでも安全性や家族の要望によって難しいこともあるが、概ね達成されていると思う。
- ・担当職員以外からも“こんなことを言っていた”“こんなことしたら喜んでいた”等の情報も共有できている。担当者会議やケアの申し送りで統一できており、次につなげるよう努力している。
- ・利用者の表情を見て、嫌がっている時は無理にしないようにしている。
- ・ミーティング、全体会議、担当者会議などの話し合いから、目標が見えてくることが多くなった。
- ・積極的にお手伝いを行ってくれる利用者が増えた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・意思表示の難しい利用者の気持ちを汲み取るのが難しい。
- ・利用者が「帰りたい」と希望されても家族の協力が必要なため、なかなか実現が難しい。年々外泊される利用者が少なくなっている。
- ・目標が分からないまま個別リハビリが日課と化し、何となく行われている。
- ・職員によって利用者に対する思いや視点が違うため、目標がずれてしまうことがある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・ご本人様の「～したい」目標を達成するために必要なリハビリであることの認識を深める。またリハビリ内容はご利用者のその時の身体状況に応じて定期的に見直す。
- ・ご本人の「～したい」が実現できるよう、ご本人とご家族の希望を擦り合わせ、ご利用者本位のケアを行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年9月27日（17：40～19：10）

3. 日常生活の支援

メンバー 伊藤、大久保、飯塚、篠田、新井、渡邊、津久井

◆前回の改善計画に対する取組み状況 () 前年

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか？	1 (0)	8 (8)	2 (2)	0 (0)	11 (10)

前回の改善計画

- ・「以前の暮らし方」は数に拘らず、その人の核となる思いを引き出し、職員間で共有する。
- ・毎日のミーティングの中で、利用者の気持ちや体調の変化について情報を発信し、共有する。また変化に即したケアについて話し合う。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・「以前の暮らし方」はアセスメントやミーティング等で把握したが、「以前の暮らし方」からご本人の“思いや希望”を叶えるケアにどう結びつけていったら良いか、日々悩みながらケアに当たっている職員もいる。
- ・ミーティングの中でご利用者の気持ちや体調等の変化について報告し、その時々に応じたケアについて話し合われている。

◆今回の自己評価の状況 () 前年

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0 (0)	7 (5)	4 (5)	0 (0)	11 (10)
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	4 (3)	6 (7)	0 (0)	0 (0)	10 (10)
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	2 (1)	8 (7)	1 (1)	0 (0)	11 (9)
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	6 (5)	4 (4)	1 (0)	0 (1)	11 (10)
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	4 (3)	6 (6)	1 (1)	0 (0)	11 (10)

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・より良いケアが行えるようアセスメントや情報提供書だけでなく、ご本人やご家族に直接聞いて確認することもある。得られた情報はミーティング等で共有している。
- ・できる限り当日利用している利用者全員と関わり、変わったことがないか、自分自身で見確認している。変化があった場合は記録に残すようにしている。
- ・その日の利用者の体調等が申し送られ、いち早く変化に気づけるよう努力している。体調が変化した場合は必ず申し送りを行い、切れ目ないケアができるよう努めている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・「以前の暮らし方」は情報として把握しているが、それをケアに活かしてきれていない。
- ・利用者の気持ちが分からない時がある。
- ・時間に追われ、“もう少し待てばできるだろう”と思うことも手伝ってしまうことがある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・「以前の暮らし方」からご本人がどのような人生を送ってきて、どのようなことが好きだったか等を把握し、ケアのヒントにする。
- ・毎日のミーティングでは職員それぞれが感じたご利用者の気持ちや体調の変化、思いなどを話し合いながらケアを行っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和元年9月27日(17:40~19:10)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	伊藤、大久保、飯塚、篠田、新井、渡邊、津久井

◆前回の改善計画に対する取組み状況 () 前年

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1 (1)	8 (6)	1 (2)	0 (1)	9 (11)

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のこれまでの生活スタイル等については、念入りにアセスメントすると共に、本人や家族とのコミュニケーションの中から得られる情報も職員間で把握する。 ・引き続き、在宅生活継続に有効な地域資源があれば積極的に活用するとともに、職員に地域資源の周知を図る。 ・今後、民生委員との連携が必要なケースがある場合、ミーティングや会議等を通じてどのような連携が必要か話し合う。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者のこれまでの生活スタイルはアセスメントと合わせて、気付いた点ノートの活用やミーティングでの気づきの発言を通して職員間で共有できている。 ・在宅生活に必要な地域資源は職員間で把握され、活用されている。しかし、より地域資源の情報収集や活用方法の検討が必要である。 ・民生委員が独居のご利用者に見守りや助言等を行い、施設職員と情報を交換しながら在宅生活を継続した。民生委員から得られた情報は職員ミーティングで報告し、社会福祉協議会とも共有した。結果的に他施設へ入所となってしまったが、以前から知っている民生委員が間に入ったことでご本人の精神的支えとなった。

◆今回の自己評価の状況 () 前年

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0 (0)	11 (9)	0 (0)	0 (0)	11 (9)
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1 (0)	9 (8)	1 (1)	0 (1)	11 (10)
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1 (0)	9 (7)	1 (2)	0 (1)	11 (11)
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1 (0)	6 (5)	4 (4)	0 (1)	11 (11)

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・自宅訪問で一緒に買い物に行ったり散歩するなど、外出を通じて地域との関わりが持っている。必要な地域資源は活用できていると思う。 ・これまでの生活スタイルや人間関係等については、家族と話した際に「こんなことが好きらしい」「こんなことをしたことがある」などの情報を得た時は職員間で共有している。 ・ご本人とコミュニケーションを図ることで自宅での様子が把握できるよう努力している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し家族が関わってほしいと思うことがある。 ・家族との関わりはあるが、友人・ご近所・民生委員他の方々との関わりは把握できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者とご家族の関係への介入は難しい面があるが、面会や物品購入を依頼する等関わって頂けるようにする。 ・利用者のこれまでの生活スタイルは、全職員がご本人との会話やご家族から得られた情報を気付いた点ノートやミーティングで共有し、ケアのヒントにする。 ・引き続き、在宅生活に有効な地域資源を積極的に活用するとともに、職員からも地域資源の情報を得る。 ・民生委員との連携が必要なケースは、ミーティングや会議等を通じて検討する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年9月27日(17:40~19:10)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 伊藤、大久保、飯塚、篠田、新井、渡邊、津久井

◆前回の改善計画に対する取組み状況 () 前年

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 (1)	9 (8)	1 (1)	0 (0)	11 (10)

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 毎月ボランティアと交流したり、様々な制度を有効活用し、より積極的に地域資源を活用する。月の行事担当や町内在住の職員にはボランティア情報を提供いただき、交流機会を増やす。 柔軟なサービス提供は現状で行えているが、担当職員の以外でも積極的に意見が言えるようなミーティングや会議を開催する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 町内在住の職員からボランティア団体やサークルに声を掛け、保険会社有志や大泉高校吹奏楽団、民謡ボランティアが来訪された。職員間での情報交換も活発に行われている。 その日、その時のニーズに応じた急なご利用・変更にも対応できており、柔軟なサービス提供が行えている。また当日の体調や思いに配慮し柔軟にケアしている。

◆今回の自己評価の状況 () 前年

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1 (1)	9 (7)	1 (1)	0 (0)	11 (9)
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4 (4)	7 (6)	0 (0)	0 (0)	11 (10)
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4 (3)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	11 (10)
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4 (2)	8 (6)	0 (0)	0 (0)	11 (10)

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 利用者、家族の生活スタイルに合った対応ができていると思う。また急な通い、訪問、宿泊でも柔軟に対応できていると思う。急な体調不調時も通院など柔軟に対応している。 ミーティングや申し送りノートから利用者の状態変化や対応の仕方など、分かりやすくなっている。 定期的にボランティアが来訪され交流が図れている。また作品展などの地域イベントへ参加している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ニーズに応じた支援はできているが、家族ニーズになっている面がある。 利用者それぞれの地域資源の活用方法の話し合いが必要だと思う。 職員間で知識や経験の差があり、統一した支援が出来ていないと思うことがある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ご本人の「～したい」が実現できるよう、ご本人とご家族の希望を擦り合わせ、ご利用者本位のケアを行う。 職員それぞれが地域資源の認識を深め、通い・泊り・訪問といった利用形態に関わらず、様々な地域資源が利用できるよう検討を重ねる。 知識や経験に関わらず柔軟な支援ができるよう、ミーティングや全体会議を通じて職員の意見統一を図る。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年10月2日(13:30~14:00)

6. 連携・協働

メンバー 篠田、宮澤、新井、板橋、渡邊、早川、津久井

◆前回の改善計画に対する取組み状況 () 前年

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
前回の課題について取り組みましたか?	1 (2)	8 (5)	1 (2)	0 (0)	10 (9)

前回の改善計画

- ・地域イベントに合わせて勤務職員を調整し、できる限り参加できるよう体制を整える。
- ・職員からもイベントやボランティア情報を収集し、積極的に交流を図る。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・年2回ほど午前中からのイベントに招待されたが、当日の職員体制を厚くすると共に入浴時間を午後に変更するなど、参加できるよう体制を整えて参加できた。
- ・職員からの情報提供により、音楽ボランティアを招くことができ、特養あさひと合同で見学できた。

◆今回の自己評価の状況 () 前年

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1 (0)	8 (7)	1 (2)	1 (1)	11 (10)
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1 (1)	7 (4)	2 (4)	1 (1)	11 (10)
③ 地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	2 (2)	8 (7)	0 (0)	1 (1)	11 (10)
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2 (2)	7 (4)	1 (3)	1 (1)	11 (10)

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・季節ごとの行事に出かけることもあれば、訪問ボランティアもあり、様々なイベントで交流を図っている。外に出かけることで特別感がある。
- ・夏祭りでは子供神輿の来訪や七夕祭り見学、毎年お誘いをうける東児童館、いずみの杜との交流会にも参加している。ボランティアはできるだけ地域の方、学校関係などに声を掛けている。
- ・担当者会議では利用者に関係する事業所が集まり、話し合う場を設けている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・ボランティア訪問はあるが、地域の人が気軽に遊びに来ることはない。
- ・イベントとして子供たちが来ることはあるが、それ以外ではない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・大泉町北地区協議体会議に参加し、地域住民と一緒に地域の課題に取り組む。
- ・引き続き、季節ごとに行われる地域イベントに参加し、地域の方々と交流を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年10月2日(13:30~14:00)

7. 運営

メンバー 篠田、宮澤、新井、板橋、渡邊、早川、津久井

◆前回の改善計画に対する取組み状況 () 前年

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 (1)	8 (5)	0 (2)	1 (1)	11 (9)

前回の改善計画

- ・11月に利用者・家族に向け、普段なかなか言えないような意見や要望、苦情を運営に反映させるべく「ご意見・ご要望アンケート」を行う予定。
- ・「地域と協働した取り組み」については、「大泉町協議体」設置に参加し、地域に根ざした施設として何ができるかを模索していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・11月にご利用者、ご家族に「ご意見・ご要望アンケート」を実施予定。今年度のこれまでのご意見として、ご利用者から“介助された場所を不快に感じた”という苦情が寄せられた。当該職員と面談すると共に、ご利用者・ご家族に面談結果を伝えた。またミーティングでは苦情内容や対応策について話し合った。
- ・2~3ヶ月ごとに「大泉町北地区協議体会議」に参加し、地域住民と協働した町づくりについて協議を行った。地域における施設の役割は今後も検討を重ねていく必要があるが、引き続き協議体メンバーとして参加を継続する。

◆今回の自己評価の状況 () 前年

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1 (0)	8 (5)	1 (4)	1 (1)	11 (10)
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1 (1)	9 (8)	1 (1)	0 (0)	11 (10)
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1 (1)	9 (7)	0 (2)	1 (0)	11 (10)
④	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0 (0)	10 (7)	0 (3)	1 (0)	11 (10)

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・家族とは送迎時や面会時に積極的に会話し、意見・要望を伺うようにしている。利用者、家族からの要望はミーティングや全体会議を通じて話し合っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・ケアの質の向上、あり方について話し合いが出来ていない。
- ・利用者から直接苦情を聞いても、他者に言わないよう口止めされることがある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・ご利用者やご家族との日常会話の中でお聞きした意見や要望は、苦情相談担当者まで報告し、ミーティングや全体会議で検討のうえ、施設運営に反映させる。
- ・事業所のあり方は、ご利用者の支援目標や毎月の行事計画、各係等による検討を通じ、ケアの質の向上を図りながら認識を深める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年10月7日(13:30~14:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 西村、飯塚、宮澤、渡邊、早川、津久井

◆前回の改善計画に対する取組み状況 () 前年

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 (2)	8 (7)	1 (1)	0 (0)	11 (10)

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・職員の経験やスキルに応じた年間の外部研修計画を立て、全職員が年に一回以上参加できるようにする。研修内容は復命書の提出および全体会議で発表し、スキルアップやケアの向上につなげる。 ・引き続き、事故報告書やヒヤリハット(事故にはならなかったがヒヤリとしたこと)を記録し、報告内容についてミーティングや全体会議で話し合う。 ・毎年3月に職員の個人面談を行い、「個人目標」他について話し合う。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修は年間研修計画に基づき、全職員が一回は参加できた。しかし毎月開催される施設内研修は参加職員が全体の半分以下に留まっており、スキルや知識のボトムアップに繋がらなため、参加意識の向上が課題である。 ・事故が起こった際は速やかに事故報告書やヒヤリハットを作成し、直近のミーティングで事故防止策について話し合ってきた。また事故後のご家族への連絡方法や処置についても話し合い、事故発生後のご家族への連絡、詳細な経過記録の作成を行っている。 ・職員の個人面談は3月に行い、仕事や資質向上などの「個人目標」

◆今回の自己評価の状況 () 前年

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2 (4)	8 (5)	1 (1)	0 (0)	11 (10)
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1 (2)	9 (7)	1 (1)	0 (0)	11 (10)
③	地域連絡会に参加していますか	0 (0)	4 (4)	6 (5)	1 (1)	11 (10)
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1 (1)	9 (7)	1 (0)	0 (1)	11 (9)

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・毎月研修委員会が企画した施設内研修が開催されている。また年に1~2回だが、ほぼ全員が外部研修に参加している。 ・事故報告書やヒヤリハット報告にあがった事例をミーティングや全体会議等で話し合い、検討している。 ・毎月の施設内研修はとても勉強になり、ケアに活かしていると思う。出席できない時はコピーし、時々見直している。 ・スキルアップのため、資格取得に向けて勉強中。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・研修で学んだ内容を自分のスキルアップに役立てられているか自信がない。 ・職場の内部研修にほとんど出ていない。 ・リスク管理の理解が薄い。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・施設内研修の参加が少なかったが、職員へのアンケートを基に研修計画を立て、スキルアップに繋がる研修を企画する。 ・事故報告書やヒヤリハット(事故にはならなかったがヒヤリとしたこと)を記録し、報告内容についてミーティングや全体会議で話し合う。また、リスクマネジメント委員会で原因の分析、再発防止策を話し合う。 ・毎年3月に職員の個人面談を行い、「個人目標」他について話し合う。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年10月7日(13:30~14:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 西村、飯塚、宮澤、渡邊、早川、津久井

◆前回の改善計画に対する取組み状況 () 前年

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	4 (4)	6 (5)	1 (1)	0 (0)	11 (10)

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> 自分の声の大きさに気付かず、無意識に大きな声で伝えてしまうことがあるため、全職員が伝える内容や声の大きさに配慮する。 「緊急やむを得ない身体拘束」以外は拘束しない意識を高め、安易に身体拘束に依存しないようにする。また「動いちゃダメ」「ちょっと待って」等、言葉による拘束も“身体拘束”であるという共通認識を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> プライバシーや声のトーンに配慮した声掛けや職員間の報告は、一部職員に課題がある。注意を促した直後は気を付けるものの、時間が経つと元に戻ってしまう。 直接的な身体拘束は行っていないが、コールセンサーを使用している方が数名いる。また「ちょっとまって」や「〇〇しちゃダメ」といったスピーチロック(言葉の拘束)も聞かれる。

◆今回の自己評価の状況 () 前年

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 身体拘束をしていない	4 (3)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	11 (10)
② 虐待は行われていない	5 (5)	6 (5)	0 (0)	0 (0)	11 (10)
③ プライバシーが守られている	4 (4)	7 (5)	0 (1)	0 (0)	11 (10)
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	3 (1)	3 (4)	2 (1)	1 (2)	9 (8)
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	5 (2)	6 (8)	0 (0)	0 (0)	11 (10)

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 高齢の方と関わっているとの認識をもちながら、尊厳をもって話すよう心がけている。 利用者のプライバシーを守り、不快に感じないように努力している。 身体拘束をしない意識が各職員に定着している。 出入口の鍵は施錠せず、安全を確保したうえで自由に過ごしている。落ち着かない方は付き添ったり、見守っている。 「動いちゃダメ」「ちょっと待って」等のスピーチロックは、言葉より先に体を動かすことで少なくともしようと努力している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 介助で手が離せない時など、つい「ちょっと待って」「動かないで」と言ってしまう。利用者の行動の“その先”“これから”が読めていない為に「動かないで」の発言になってしまうのでは。予測も大切だと思う。 会話の内容、言葉遣いが馴れ馴れしくなってしまう 大きな声で排せつの有無を尋ねることがあり、声掛け一つひとつに配慮が欠けていることがある。 成年後見人制度は活用していない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 人権擁護委員会を中心に人権意識を啓発する。また施設内外の研修に派遣し、復命書や学んだことの発表を通じて人権意識を高める。 時間の経過とともに人権意識が低下しないよう、スピーチロック注意した声掛け、プライバシーへの配慮を定期的にミーティングで取り上げる。 	